金沢市低炭素都市づくり行動計画

～エコシティ金沢　CO_2百万トン削減をめざして～

年次報告書
（平成 23 年度実績）

平成 24 年 11 月

金　沢　市

目　　次

Ⅰ　金沢市低炭素都市づくり行動計画について・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ　温室効果ガス排出量とエネルギー消費量・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅲ　平成 23 年度の市施策の取組状況・実績・・・・・・・・・・・・・・4

基本方針１　再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

基本方針２　日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を図ります・・・・・・・・・・・・・・・・6

基本方針３　公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます・・・・・・・・10

基本方針４　緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努めます・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

基本方針５　廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

Ⅰ　金沢市低炭素都市づくり行動計画について

１．金沢市低炭素都市づくり行動計画とは

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任をもって地球温暖化対策に取り組み、実効性のある施策を進めていくことで、金沢市の温室効果ガスの排出削減を図り、「金沢らしい低炭素都市づくり」を目指した計画です。

２．計画の位置づけ

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 20 条の３でいう区域の温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたもの（区域施策編）であり、本市における地球温暖化対策に係る計画的かつ総合的な計画です。

３．計画の期間

平成 23 年度（2011 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までの 10 年間としますが、概ね５年で見直しを行います。

４．計画の基本理念と基本方針

基本理念：持続可能な低炭素社会の実現

基本方針１：再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します

基本方針２：日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を図ります

基本方針３：公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます

基本方針４：緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努めます

基本方針５：廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します

５．温室効果ガス排出量の削減目標

- 短期目標　2015 年度に 1990 年度比　±０％　現状（2008 年度）から－17%（約 58 万 t CO_2）削減
- 中期目標　2020 年度に 1990 年度比　－15%　現状（2008 年度）から－29%（約 100 万 t CO_2）削減
- 長期目標　2050 年度に 1990 年度比　－76%　現状（2008 年度）から－80%（約 277 万 t CO_2）削減

Ⅱ　温室効果ガス排出量とエネルギー消費量

１．金沢市の温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量

金沢市の2010年度(平成22年度)の温室効果ガス排出量は3,078千t-CO_2で、前年度より4.1%、基準年度より6.8%増加しています。

部門別の二酸化炭素排出量を前年度と比較すると、運輸部門のみが減少し、そのほかの部門は増加しました。

（単位：千トンCO_2）

		1990年度（基準年）	2008年度	2009年度	2010年度（H22）	前年比	2008年度比	基準年比	構成比（CO_2内訳）
二酸化炭素	産業部門	694	406	286	347	21.4%	-14.5%	-50.1%	11.6%
	家庭部門	505	834	671	825	23.0%	-1.1%	63.3%	27.5%
	業務部門	621	1,073	837	905	8.1%	-15.7%	45.7%	30.2%
	運輸部門	855	1,020	1,042	868	-16.7%	-14.9%	1.5%	29.0%
	廃棄物部門	56	53	43	52	19.5%	-2.5%	-7.3%	1.7%
	計	2,732	3,386	2,879	2,997	4.1%	-11.5%	9.7%	100.0%
メタン		107	24	25	30	17.1%	25.1%	-72.4%	
一酸化二窒素		39	46	49	48	-2.7%	4.9%	22.4%	
ﾊｲﾄﾞﾛﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ類		5	6	4	4	0.7%	-32.8%	-23.3%	
合　計		2,883	3,462	2,958	3,078	4.1%	-11.1%	6.8%	

エネルギー消費量

金沢市の2010年度（平成22年度）のエネルギー消費量は35,905TJ（ﾃﾗｼﾞｭｰﾙ）で、前年度より2.5%減少しましたが、基準年度より5.6%増加しています。

	1990年度（基準年）	2008年度	2009年度	2010年度（H22）	前年比	2008年度比	基準年比	構成比
産業部門	7,653	3,993	3,413	3,971	16.4%	-0.5%	-48.1%	11.1%
家庭部門	6,350	8,062	8,290	9,523	14.9%	18.1%	50.0%	26.5%
業務部門	7,444	9,447	9,747	9,634	-1.2%	2.0%	29.4%	26.8%
運輸部門	12,547	14,984	15,390	12,776	-17.0%	-14.7%	1.8%	35.6%
合　計	33,995	36,487	36,840	35,905	-2.5%	-1.6%	5.6%	100.0%

《前年度からの温室効果ガス排出量の主な増減理由》

●原子力発電所の利用率低下に伴う、電力排出原単位の増加

2009年度：0.374kgCO_2/kWh　→　2010年度：0.423kgCO_2/kWh

●景気回復による、製造業の生産量の増加　→　産業部門のエネルギー消費量の増加

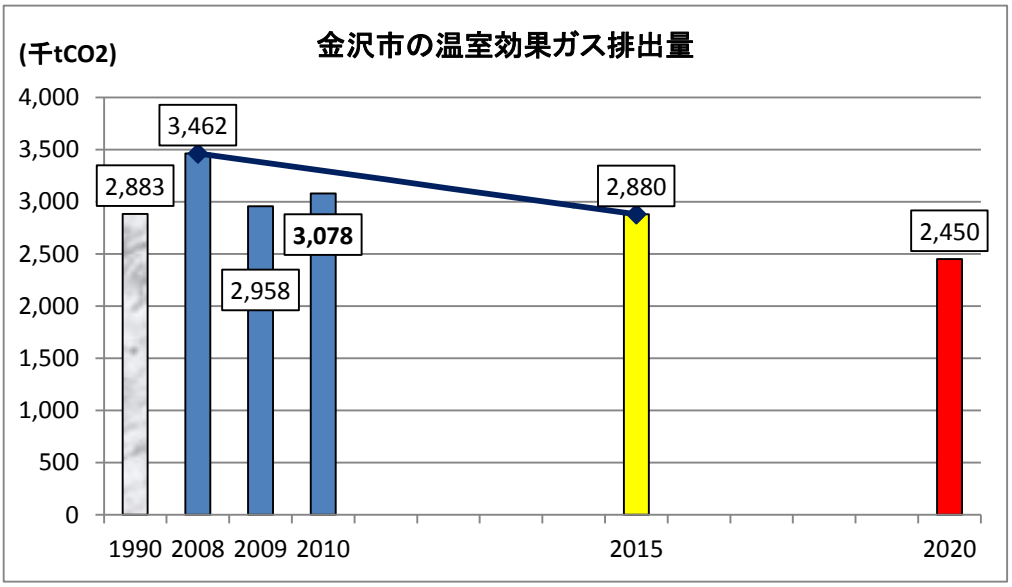
●猛暑厳冬に伴う電力使用量、灯油使用量の増加　→　家庭部門のエネルギー消費量の増加

●自動車走行に伴うガソリン及び軽油使用量の減少　→　運輸部門のエネルギー消費量の減少

2. 削減目標との比較

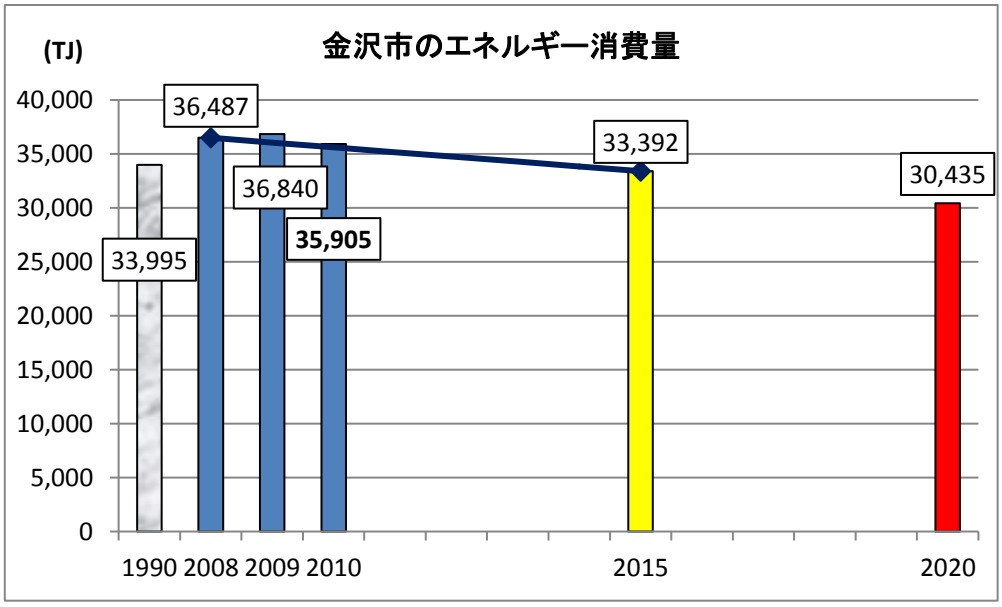
温室効果ガス排出量

計画策定時の実績（2008 年度）と目標値（2015 年度）の温室効果ガス排出量を結んだラインと 2008 年度以降の実績値を比較します。



エネルギー消費量

エネルギー消費量については、具体的な目標値を定めていませんが、温室効果ガス排出量の削減目標を達成するための必要なエネルギー消費量で設定し、その値と 2008 年度の実績値を結んだラインとで比較することとします。



Ⅲ　平成 23 年度の市施策の取組状況・実績

５つの基本方針を柱とした施策内容について、平成 23 年度に市が実施した取組内容および実績を報告します。

基本方針１　再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します

施策NO	「低炭素都市づくり行動計画」に掲げた市の施策	平成23年度実施の施策・取り組み	実績
1-1 マイクロ水力発電設備を設置します			
1	河川や用水にマイクロ水力発電設備を設置	市内用水路等による小水力発電の可能性と事業化に向けた調査研究を実施	
		再生可能エネルギー導入等研究会においてマイクロ水力発電の導入について検討	
		地球温暖化対策推進協議会事業企画部会においてマイクロ水力発電の導入について検討	
1-2 バイオマスを有効に活用します			
1	木質バイオマスストーブやボイラーの設置に対する助成を実施	木質バイオマスストーブの設置に対して助成	助成件数：5件
2	金沢産材を利用した木質ペレット活用システムを構築	金沢産木質ペレットの供給体制構築に向け、試作品の品質調査やコスト試算等を実施	
3	未利用バイオマスの活用	再生可能エネルギー導入等研究会においてバイオマスの活用について検討	
		燃料や農業用資材への、竹材の新たな活用方法について調査を実施	
		金沢エコ推進事業者ネットワークにバイオマス研究会を設置	

木質ペレットとペレットストーブ

木質ペレットは化石燃料の有効な代替エネルギー源と考えられています。

試作ペレットの調査結果を踏まえ、市でも可能な公共施設から、試験的にストーブの導入を進めていきます。

1-3 景観に配慮した太陽光発電設備の設置を促進します			
1	住宅用太陽光発電設備の設置に対する助成を実施	住宅用太陽光発電システムの設置に対して助成	助成件数：399件
		伝統環境保存区域における住宅用太陽光発電システムの設置に対して助成額の上乗せを開始	
2	メガソーラー設備の設置	市の敷地における遊休地（未利用地）の調査を実施し、再生可能エネルギー導入等検討ワーキングや再生可能エネルギー導入等研究会で検討	

1-4 景観に配慮した風力発電設備や太陽熱利用システムの設置を促進します			
1	住宅用ソーラーシステム（太陽熱利用機器）の設置に対する助成を実施	実績なし	
2	家庭用小型風力発電設備の設置に対する助成を実施	実績なし	
1-5 再生可能エネルギーの利用を積極的に推進するための制度や体制を整えます			
1	再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の設置企業等に対して低金利で資金を融資	中小企業者が、地球温暖化の防止に資する施設の整備や低公害車の導入をする際の資金を低利で融資	
2	多種多様な再生可能エネルギーの利用について、大学と共同研究を実施	再生可能エネルギー導入等研究会を設置し、再生可能エネルギーの導入及び未利用エネルギーの活用等の可能性について産学官連携で検討	
3	NPOやファンドの設立などによる市民参加型の市民発電所を設置	実績なし	
4	市民が取り組める「グリーン電力証書」や「カーボン・オフセット」制度の構築	実績なし	
5	市民・事業者に対する各種助成制度や環境的メリットの情報を提供	ホームページに市の助成制度を掲載	
1-6 公共施設における再生可能エネルギーの導入を拡大します			
1	浄水場の導水管に小水力発電設備を設置	末浄水場に小水力発電設備を設置	発電出力：42kW
2	市有施設に木質バイオマスストーブやボイラーを設置	木質バイオマス活用ワーキングにてペレットボイラーの導入を検討、調査を実施	
3	学校施設、公園施設等市有施設に太陽光発電設備や小型風力発電機を備えたハイブリッド型設備を設置	公園へのソーラー時計塔の設置	新設：２施設 更新：３施設
		金沢市民芸術村（職人大学校）や西部環境エネルギーセンターなどに太陽光発電設備を設置	設置基数：３基 出力：31.5kW
		市内小学校に太陽光発電設備および小型風力発電機を備えた外灯、時計を設置	設置基数：外灯１基、時計１基
4	市有施設にソーラーシステム（太陽熱利用機器）を設置	再生可能エネルギー導入等検討ワーキングにて太陽熱利用を検討	
		戸室リサイクルプラザにおいて太陽熱利用を継続	
5	下水処理施設で発生する消化ガスを都市ガスの原料として精製、利用	消化ガスを都市ガス１３Aに精製し、湊エネルギーセンターへ供給	都市ガス製造量（供給量）： 485千Nm³／年
6	ごみ収集車などにバイオディーゼル燃料を活用	民間事業者におけるバイオディーゼル燃料事業化を受け、安定的な廃食用の油の回収方法や公用車への利用の可能性を検討	
7	市有施設に地中熱を利用したヒートポンプの設置	再生可能エネルギー導入等検討ワーキングにて地中熱利用を検討	

基本方針２　日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を図ります

施策NO	「低炭素都市づくり行動計画」に掲げた市の施策	H23年度　実施の施策・取り組み	実績
2-1	日常生活における省エネルギー行動を推進します		
1	省エネ家計簿やエコライフリーフレットの作成・配布、活用	各種イベントや出前講座等で啓発リーフレットや省エネ家計簿等を配布するほかホームページにも掲載し、地域・家庭における省エネ実践を啓発	配布等普及活動回数：16回
2	簡易電力表示器や啓発ビデオ、パネル等の貸し出し、活用	「チャレンジ省エネ！15%削減」家庭応募世帯に、簡易電力表示器の貸し出しを行うなど「見える化」を推進	簡易電力表示器貸出数：42個
		夏休みこどもエコ体験講座において簡易電力表示器を貸し出し、こどもが取り組むわかりやすい家庭の節電を支援	簡易電力表示器貸出数：40個
3	地球温暖化防止出前講座の実施、受講	地球温暖化防止出前講座や講師派遣の実施	出前講座開催回数：24回 受講者数：1,966人 講師派遣回数：6回 受講者数：200人
4	各種環境イベントやエコライフセミナーなどの開催、参加	「かなざわエコフェスタ2011」の開催	エコフェスタ来場者数：7,000人
		金沢エコネットへの委託によるイベント及び講座を開催	省エネセミナー開催回数：47回
5	マイバッグ持参による買い物、環境負荷の少ない商品の購入など「環境にやさしい買い物」を推進	環境にやさしい買い物キャンペーン等を通じて、環境負荷の少ない商品・サービスの提供・購入を事業者・市民に呼びかけ	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ開催回数：5回
		県等と連携してレジ袋削減に関する協定締結企業を拡大	協定締結事業者数：26事業者 マイバッグ持参率：88.5%
6	省エネ行動など、他の模範となる優れた環境保全活動をしている個人・団体・事業所を表彰	環境保全に関して積極的に活動した市民・事業者を表彰する「いいね金沢環境活動賞」を実施	表彰団体数 環境保全の部：7件 地域美化の部：5件
7	テレビ広報、新聞広報、ホームページ等により、環境に関する様々な情報を発信	各種イベントや出前講座等で啓発リーフレットや省エネ家計簿等を配布するほかホームページにも掲載し、地域・家庭における省エネ実践を啓発（再掲2-1-1）	配布等普及活動回数：16回
		6月の環境月間の情報についてテレビ広報を作成し、リビングかなざわや新聞にも情報を掲載	新聞広報掲載数：特集欄2回 広報番組作成数：2番組
		11月のエコドライブ月間にテレビ広報番組を作成	
8	携帯電話やパソコンのメールで環境情報を配信	実績なし	
9	金沢版エコポイント制度の創設	実績なし	
10	市民の省エネ行動によるCO_2削減量の「見える化」を進める仕組みの構築	「チャレンジ省エネ！15%削減」家庭応募世帯に、簡易電力表示器の貸し出しを行うなど「見える化」を推進（再掲2-1-2）	簡易電力表示器貸出：42件
11	「地球温暖化防止活動推進員」や「地球温暖化防止活動推進センター」と連携した活動を実施	実績なし	

かなざわエコフェスタ

フリーマーケットやエコ遊園地など、様々なエコ体験ができるコーナーや、再生可能エネルギーをはじめとする展示コーナーを設置しました。

こどもから大人まで、環境問題について楽しく学ぶことができました。

2-2	事業活動における省エネルギー行動を推進します		
1	環境保全活動に積極的に取り組む企業などと連携し、有用な地球温暖化対策情報を提供	金沢エコ推進事業者ネットワークの運営を通じて、地球温暖化対策の有用な情報等を事業者に提供	会員数：100事業者 参加企業数（延べ）：260社
2	環境に配慮した企業経営のための専門技術を講義する研修会等の開催、参加	技術開発ゼミナールの「環境技術の解説コース」において、地球環境に配慮した企業経営のための専門技術を企業技術者等に講義	受講者数（２日間）：23名
		金沢エコ推進事業者ネットワークの全体会における講演会、先進企業の視察の実施や、幹事会における研修会の実施	開催回数 全体会：5回 幹事会：5回
3	事業者版省エネチェックシートの作成・配布、活用	金沢省エネチャレンジ（事業者版環境家計簿）の配布	配布等普及活動数：5回 取組事業者数：10社
4	事業者に対する「地球温暖化防止実行計画」の策定支援及び策定事業者の認定	金沢エコ推進事業者ネットワークの運営を通じて、地球温暖化対策の最新情報等を事業者に提供し、地球温暖化防止実行計画の策定、実行を支援	実行計画策定事業者数（市認定事業者数）：5事業者
5	環境負荷の少ない商品やサービスの提供などを行う「環境にやさしい買い物」取組店舗の拡大（「環境にやさしい買い物推進店」の登録店舗の拡大）	環境にやさしい買い物推進店登録店舗の拡大	登録店舗数（延べ）：334店舗
6	「環境にやさしい買い物」を推進する小売店舗に対する「エコショップ・アクションプラン」の策定支援及び策定事業者の認定	環境にやさしい買い物の普及や廃棄物の減量化、地球温暖化防止に関する取り組みについて、小売り事業者が自主的に作成した行動計画を「エコショップ・アクションプラン」として認定	
7	省エネ行動など、他の模範となる優れた環境保全活動をしている個人・団体・事業所を表彰（再掲2-1-6）		
8	再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の設置企業等に対して低金利で資金を融資（再掲1-5-1）		
9	産学連携のもと環境分野等における新製品の開発を行う企業等へ助成を実施	新製品・デザイン開発促進事業（産学連携コース）において、産学連携による環境分野の新製品等の開発を行う企業等に対して助成	助成件数：3件
10	環境に配慮して事業活動を行っている企業をホームページなどで紹介	金沢エコ推進事業者ネットワークホームページに、会員企業の地球温暖化防止実行計画や活動状況を掲載	
		金沢エコ推進事業者ネットワークで環境保全活動推進ガイドブックの改訂・冊子配布を行い、ホームページにも掲載	
11	中小企業の省エネなど環境に配慮した取り組みなどを紹介する事例集の作成、公開	金沢エコ推進事業者ネットワークで環境保全活動推進ガイドブックの改訂・冊子配布を行い、ホームページにも掲載（再掲2-2-10）	
		機関誌を創刊	
12	オフィスビルにおける省エネ推進の仕組みを構築	事業者意向調査を実施	
13	省エネ診断や省エネプランを提案するアドバイザーの派遣	事業者意向調査を実施	調査実施事業者数：255社
14	企業間排出量取引制度やオフセット・クレジット等の制度の活用	市下水処理施設におけるCO_2排出量取引（国内クレジット制度）の実施	売却量:38t-CO_2 （売却期間9～12月）
15	環境基金の創設	実績なし	
16	エネルギー多量排出事業者を対象とした報告制度の構築	実績なし	
17	金沢市独自のライトダウンキャンペーンの実施	昼も夜もライトダウン2011in金沢の実施及び実施企業の募集	実施期間：6/22～8/31 実施企業数：44社
18	環境負荷の少ない「手仕事」の継承	希少伝統産業専門塾の開催（加賀繍、金沢九谷、加賀象嵌、木工、竹工、二俣和紙（新規））	開催回数：450回 参加人数：41人

2-3	省エネルギー住宅の設置や省エネルギー機器の導入を促進します		
1	住宅用の高効率給湯器や燃料電池の設置に対する助成を実施	家庭用ガスコージェネレーションシステム（エネファーム、エコウィル）の普及促進及び設置に対しての助成	助成件数 ｴﾈﾌｧｰﾑ：3件 ｴｺｳｨﾙ：15件
		住宅用潜熱回収型給湯器「エコジョーズ」の設置に対して助成	助成件数：353件
2	省エネ住宅、省エネ機器に関する情報やHEMS、BEMSの運用メリットなどの情報を提供	地球温暖化防止出前講座や講師派遣の実施（再掲2-1-3）	出前講座開催回数：24回 受講者数：1,966人 講師派遣回数：6回 受講者数：200人
		金沢エコ推進事業者ネットワークの運営を通じて、地球温暖化対策の有用な情報を事業者に提供	会員数：100事業者 参加企業数（延べ）：260社
3	住宅の省エネ化や長寿命化を推進する仕組みを構築	まちなか住宅建築奨励金・いい街金沢住まいづくり奨励金交付の認定条件に住宅性能評価書の交付又は長期優良住宅の認定通知書の交付を設定し、住宅の省エネ化や長寿命化を推進	認定戸数 まちなか住宅：67戸 いい街金沢：143戸
		市営住宅の延命化を図るため、従前より耐久性の高い塗装材を使用し、外壁等改善工事を実施	工事：5棟実施
2-4	環境教育・環境学習の充実と環境リーダーの育成を図ります		
1	金沢ユネスコ・スクールにおける環境教育を推進	金沢ユネスコ・スクールの指定での持続発展可能な社会の担い手の育成を図る	ﾕﾈｽｺｽｸｰﾙ指定校数（延べ）：36校
2	小中学校における「金沢学びタイム」の創設による持続発展教育を推進	伝統文化や豊かな自然、歴史、食など多様な素材や人材を題材に金沢について学ぶ金沢「学びタイム」を全小中学校で実施	1校あたりの最低時間数 小学校5年生：12時間 中学校2年生：10時間
3	小学生児童を対象とした「環境キャラバン隊」活動の実施、参加	金沢市地球温暖化対策推進協議会への委託事業により、省エネをテーマに「夏休みこどもエコ教室」（3回連続）を開催	エコキッズ認定者数：36名
4	省エネルギー活動に積極的に取り組む学校等への支援	「かなざわ学校エコプロジェクト」に取り組む小学校に対し、教材の購入やアドバイザーの派遣等を実施	学校ｴｺﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ取組校数：2校
	省エネルギー活動に積極的に取り組む地域、市民団体への支援	具体的活動目標を定めて地球温暖化をはじめとする環境問題に取り組む市民団体に対して、物品支給やアドバイザー派遣等の支援を実施	市民ｴｺﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ取組団体数：1団体
5	環境NPO等と連携し、環境学習教材の開発及び人材育成の支援	「金沢エコネット」と連携し、環境学習教材の開発や人材の育成支援を実施	講座開催回数：全10回 受講者数（延べ）：120名
6	地球温暖化防止出前講座の実施、受講（再掲2-1-3）		
7	各種環境イベントやエコライフセミナーなどの開催、参加（再掲2-1-4）		
8	各地域、各世代を対象とした、地域住民との協働による環境教育・環境学習の実践活動を実施	実績なし	
9	大学との連携による環境教育・環境学習プログラムを作成	実績なし	

夏休みこどもエコ教室

夏休み期間中に、地球温暖化についての講座や、アルミホイルで作るソーラークッカー実験など、計3回の活動を実施しました。参加したこどもたちは「金沢エコキッズ」に認定されました。

2-5	地産地消を進めます		
1	金沢産のスギ柱を使用する木造住宅の新築等に対する助成を実施	金沢産スギ柱材50本以上使用した住宅に対して助成を行う、木の家づくり奨励事業を実施	助成（交付）件数：152件
2	小中学校の多目的ルーム、図書室等の床や壁、机の天板に金沢産材を使用	小学校の多目的ルーム等の床や壁、学校机の天板に金沢産材を使用したぬくもりの教室環境を整備	ぬくもりの教室設置数：3校
		学校机の天板の制作、取り換えを実施	天板の取り換え：2校200枚
3	市の公共事業に間伐材を利用（花壇柵、ベンチ、看板、杭等）	市の公共事業に間伐材（花壇柵、ベンチ、看板、杭等）を支給	間伐材使用箇所数：18箇所
4	地場農産物を学校給食で利用	地場農産物を給食食材として提供	給食提供回数：4回 （延べ12小・中学校、20保育所）
		学校米飯給食における金沢産一等米使用を支援	
5	地場農産物を使用した料理教室や講習会の開催、参加と伝統料理の継承	加賀野菜など地場農産物を使用した、市民対象の料理教室や加工講習会を実施	開催回数：7回 受講者数：延べ195人
		「金沢エコネット」への委託により、地もの食材を使った料理講習会を開催	開催回数：4講座（6回） 受講者数：延べ157人
6	朝市などの直売所の開設を支援	直売所の開設等へ支援	支援件数：4件
7	加賀野菜取扱店の登録、加賀野菜加工品の認証の推進	加賀野菜取扱店登録事業及び加賀野菜加工品認証制度の推進	取扱店舗数（延べ）：166店舗 認証加工品数（延べ）：54商品
2-6	公共施設における省エネルギー機器の導入拡大と職員の省エネルギー行動の徹底を図ります		
1	庁内各課所における温暖化防止推進体制の構築及び担当者研修会の開催	各職場での省エネ行動を率先的に行うため、各担当推進員を選任し、研修を実施	総括推進員研修1回 公用車担当推進員研修1回
2	自主的な省エネ行動の推進	庁内環境情報誌「エコアクション」で、省エネ行動の推進を啓発	エコアクション発刊回数：12回
		内部監査により、各職場での取組状況を確認し、必要な助言・指導を実施	内部監査実施施設数：14箇所
		各職場での省エネ行動を率先的に行うため、各担当推進員を選任し、研修を実施（再掲2-6-1）	総括推進員研修1回 公用車担当推進員研修1回
3	空調設備や照明設備などの適正な運用	空調設備の適切な温度管理、不使用時の消灯、コピー用紙の節減、蛍光灯の間引き、OA機器の省エネ設定、エレベーター稼働時間の縮減など	
4	「金沢市グリーン購入方針」に基づき、環境負荷の低減に資する製品を調達	「金沢市グリーン購入方針」に基づき、環境負荷の低減に資する物品を調達	グリーン購入割合：93.9%
5	庁舎、学校、公園や道路照明灯などにLED照明器具を設置	市有施設、市道路などにLED照明器具を導入	導入基数：1,873基
		LED照明設置施設（東部クリーンセンター及び4小学校）の月々の電力使用量データを収集	電気使用量削減率：約29%
6	市有施設の耐震化工事に併せて省エネ改修を実施	実績なし	
7	市有施設における断熱構造等省エネ建物の導入	実績なし	
8	市営住宅の新築や更新時における省エネ設備・機器の導入	実績なし	

基本方針３　公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます

施策NO	「低炭素都市づくり行動計画」に掲げた市の施策	H23年度　実施の施策・取り組み	実績
3-1	公共交通の利便性を向上します		
1	北陸新幹線開業に向けた新交通システム（まちなかシャトル）の導入	まちなかシャトル平日運行実験（４月～３月）	利用者数：180，388人 （38人/便）
2	パーク・アンド・ライドの拡充、利用促進	通勤時パーク・アンド・ライド：駐車場16箇所（377台） 観光期パーク・アンド・バスライド：臨時駐車場（1300台）	通勤時：217人 観光期（５月）：975台2,861人
3	金沢ふらっとバスの運行、利用促進	金沢ふらっとバス４ルートの安定的な運行を図るとともに,利用促進策を実施	４ルート乗車人数：776,852人
4	ノンステップバスの導入促進	ノンステップバス購入に対して助成	４台購入
5	バスの走行環境の向上	土日祝日のバス専用レーン（むさし交差点～片町交差点）実験を実施	９月３日～25日の土日・祝日10日間実施
6	バス待ち環境の向上	バスロケーションシステム（金沢駅西広場）整備に対して助成	金沢駅西広場：６基 （バスのりば：３基、待合所：３基）

金沢ふらっとバス

金沢ふらっとバスは、公共交通が不便な地域を中心に、住宅地と交通結節点や商店街などを結ぶ循環バスで、市民の気軽な足として利用されています。

3-2	歩く人にやさしい交通環境を整備します		
1	歩道の段差の解消	歩道の段差解消、フラット化及び誘導ブロック設置	整備箇所数：２箇所
2	無電柱化の推進	都市景観の向上など快適な歩行空間の確保を図るため、無電柱化を推進	実施箇所数：７箇所
3	生活道路など歩道が確保されていない道路において、ライン標示等により歩行通行帯を確保	地元などからの要望を受け、外側線が消えている道路などにラインを表示	整備箇所数：１路線
		六枚から東急裏に自転車走行帯及び歩行者安全のための外側線を表示	整備路線数：１路線

整備前　　整備後

無電柱化の整備路線

写真の木倉町通りは、金沢を代表する歴史的観光ルートで「まちなか歩行回廊ルート」でもあります。整備前は通行空間が狭く、景観も阻害されていましたが、無電柱化により景観の向上及び、安全で快適な通行空間を確保することができました。

3-3	**快適な自転車利用環境を創出します**		
1	公共レンタサイクルの実施、活用	公共レンタサイクルの本格実施を開始	貸出・返却箇所：19箇所 自転車数：155台 利用者数：546人
2	まちなかの幹線道路と細街路を組み合わせた自転車ネットワークの整備	まちなか自転車利用環境向上計画で位置づけられた自転車ネットワークにおける自転車通行空間整備を順次実施	整備区間：約2km
3	交通結節点（駅、バス停）、公共公益施設、観光地、業務・商業地の周辺における駐輪スペースの整備	駐輪場内の長期駐輪への対応を継続的に実施するとともに、長期駐輪自転車の返還手数料を徴収し、適正な駐輪スペースを確保	
		西金沢駅駅西広場内、竪町、金沢駅西（暫定）に自転車駐輪場を整備	駐輪場新設箇所数：3箇所
4	自転車通行空間・通行位置の明示など、安心して自転車走行ができる環境の整備	まちなか自転車利用環境向上計画で位置づけられた自転車ネットワークにおける自転車通行空間整備を順次実施（再掲3-3-2）	整備区間：約2km
5	自転車利用ルールの遵守・マナーの向上	自転車マナーアップDVD及びチラシを製作	
		自転車マナーアップ強化運動及び市内高校4校にて自転車ルール・マナー検定をモデル的に実施	
3-4	**マイカーから公共交通への利用転換を促進します**		
1	公共交通利用促進に向けた意識の高揚のために「公共交通利用促進市民会議」等を開催	公共交通利用促進会議、地域・企業への啓発、こども交通ひろば等の実施による公共交通利用促進などの意識を啓発	啓発人数：10,000人以上
2	小学校における交通環境学習の実施	自転車安全教室と併せ、金沢版交通環境学習プログラムの導入版を3年生を対象に全小学校で実施し、さらに発展版を希望する小学校に対し、教材の準備や出前講座で授業を支援	発展版実施校数：5校
3	「エコ通勤促進アクション・プラン」の策定・支援	エコ通勤促進アクションプランを策定した企業とエコ通勤促進協定を締結	
4	公共交通の利用の促進に著しく貢献した企業や団体等を表彰	公共交通の利用の促進に著しく貢献した企業や団体等を表彰	表彰企業・団体数：3団体
3-5	**まちなかへの過度なマイカー流入を抑制しつつ、まちなか定住、就業促進に努めます**		
1	まちなか荷捌き駐車対策の実施	荷捌き駐車場の確保及び運営を実施するとともに、共同集配事業の可能性を探るため実態調査等を実施	荷捌き駐車場利用台数：2,649台
2	まちなか区域内での定住を促進するため、住宅建築等に対する助成を実施	まちなか定住促進事業により、中心市街地における住宅の建築に対して助成を実施	まちなか住宅建築奨励金交付件数：67件
3	中心市街地へのオフィス進出に対する助成を実施	中心市街地業務機能集積促進事業により、中心市街地等への事業所の誘致を推進	助成認定件数：3件
4	「歩けるまちづくり協定」締結地区における通過交通の抑制	芳斉地区弓ノ町地区の通りにおける交通規制を実施	

公共レンタサイクル　まちのり

「まちのり」は、だれでも簡単に利用できる、人にも環境にもやさしい公共レンタサイクルです。

サイクルポートは、事務局をあわせて市内 19 箇所に設置されています。

3-6	エコカーの導入を進めるとともに、効率的な自動車利用を推進します		
1	民間企業等に対する天然ガス自動車や電気自動車などエコカーの普及促進	民間企業等へ天然ガス自動車について普及促進	天然ガス自動車導入台数：16台
2	再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の設置企業等に対して低金利で資金を融資（再掲1-5-1）		
3	エコドライブ講習会の開催、参加	ショッピングセンターにおいてエコドライブキャンペーンを開催（市民エコドライブ講座、タイヤの空気圧点検）	講座実施回数：2回 空気圧点検：11台
		職場推進員の公用車担当に対し、エコドライブ講習会を実施	公用車における燃費 ｶﾞｿﾘﾝ（HV含）：8.5km/L
4	エコドライブリーフレットの作成・配布、活用	エコドライブリーフレットを作成し、エコドライブキャンペーン等で配布	配布等普及活動回数：3回
5	渋滞緩和のため、立体交差の設置及び環状道路の整備	海側環状道路の一部を整備	整備区間：L＝80m
6	観光地周辺などの渋滞を緩和するため、駐車場への案内を実施	駐車場案内システム（案内板、インターネット、携帯電話等）による情報提供	案内板基数（延べ）：41基
7	タクシー事業者などを対象とした電気自動車の購入に対する助成を実施	実績なし	
8	電気自動車の充電設備の設置に対する助成を実施	集客施設での充電設備の設置に対する助成制度を新設	助成件数：5件
9	一定台数以上の社有車を保用する事業所等を対象とした報告制度を構築	実績なし	
3-7	市公用車におけるエコカーの導入拡大と職員のエコドライブの徹底を図ります		
1	エコドライブの推進	公用車のアイドリングストップ等省エネ運転を推進	
		職場推進員の公用車担当に対し、エコドライブ講習会を実施（再掲3-6-3）	公用車における燃費 ｶﾞｿﾘﾝ（HV含）：8.5km/L
2	公用車の共有使用（カーシェアリング）を推進し保有台数を削減	実績なし	公用車保有台数：764台
3	「自家用車通勤自主規制実施要領」により、市職員のマイカー通勤を原則禁止	「自家用車通勤自主規制実施要領」の実施により、職員のマイカー通勤の原則禁止、例外者のパーク・アンド・ライド利用推進を職員に周知	
4	公用車の低公害車導入方針（計画）を策定し、電気自動車、天然ガス自動車等に順次更新	公用車に低公害車を導入	導入台数 天然ガス自動車：14台 電気自動車：2台

エコドライブキャンペーン

11 月の「エコドライブ推進月間」に、ショッピングセンターを訪れた市民を対象にエコドライブ講習会及びタイヤの空気圧無料点検を実施しました。

エコドライブの普及啓発や車両管理、燃費への意識を高めました。

基本方針４　緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努めます

施策NO	「低炭素都市づくり行動計画」に掲げた市の施策	H23年度　実施の施策・取り組み	実績
4-1	森林を整備し、二酸化炭素の吸収源対策を行います		
1	水源涵養林等の植林用地を確保し、「水源環境保全協定」の締結により植林を実施	「水源環境保全協定」の締結等により植林を実施	植林面積：2,360㎡
2	「ふるさとの森づくり協定」を締結した区域における民有林の整備に対し助成を実施	人工林を整備するための間伐や枝打ち、天然生林を再生するための老齢木や荒廃竹林の伐採等に対する助成を実施し、さらに助成交付後の苗木購入費に対する助成制度を新設	補助面積：128ha
3	森林管理、林産物生産などの担い手を育成するため「金沢林業大学校」を運営	森林管理、林産物生産などの担い手を育成するため「金沢林業大学校」を運営	研修生人数：２期生12名
		研修生に対して、森林管理や農林産物の生産に必要な初期投資の支援を実施	
4	「金沢市営造林契約」に基づき、間伐、枝打ち、選木等の保育事業を実施	金沢市営造林契約に基づき、雪起し、下刈、除伐、間伐、枝打ち、選木等の保育事業を実施	保育事業実施面積：612ha
5	「森づくりサポートバンク」を運営し、市民と団体のボランティアによる森づくり活動を支援	森づくり活動に関心のある市民、団体を支援するため、「森づくりサポートバンク」会員を募集し、情報提供や講師派遣、道具の貸し出しを実施	登録団体数：35団体 会員数：4,653名
6	森づくり専門員を講師とした森づくり出前講座や森づくり教室を開催し、市民や企業との協働による森づくりを推進	森づくり専門員を設置し、森づくり出前講座の実施、森づくり教室の開催、企業の森づくり活動のPRなどを実施	出前講座実施回数：21回 受講者数：1,597名
7	森林整備を行う団体に対し、CO_2吸収量を認証	CO_2吸収量を認証し森林整備を促進	認証団体数：４団体 認証CO_2吸収量：40.26t

金沢林業大学校

金沢市が運営する「金沢林業大学校」では、

- 小型林業機械の技能講習、山村経営
- 植栽、下刈り、間伐、枝打ち、搬出
- キノコや野菜の栽培

など、様々な研修を行っています。

森づくりサポートバンク

森づくり活動をサポートする講師派遣や森づくりツールの貸出、情報交流を行っています。

森づくり出前講座では、森づくり専門員の講習や、実際に森の中での体験学習を実施しています。

4-2	斜面緑地とまちなかの自然を保全し、ヒートアイランド現象を緩和します		
1	景観条例により、建築行為の際に敷地内緑化を励行	景観条例に定められた区域において建築の届出があったものに対し敷地内緑化を指導	指導件数：647件
2	「斜面緑地保全区域」を指定し、高木緑化や適正管理に対し助成を実施	保全区域内の斜面緑地保全のため、市民が行う緑化推進に対する財政的支援、災害防止に対する指導等の技術的援助を実施	補助件数 高木緑化：5件 巨木適正管理：7件
3	「風致地区」、「斜面緑地保全区域」において緑被率を設定し、緑化を推進	「風致地区」については許可制、「斜面緑地保全区域」については届出制として申請させ、中高木等の植栽を指導	風致地区許可件数：42件
4	「特別緑地保全地区」での建築行為を制限し、緑地を保全	特別緑地保全地区の指定により、建築行為等を制限し、管理者への管理奨励金交付により良好な管理を継続	交付件数：66件
5	保存樹、保存樹林、景観樹等の指定により寺社や民有地に残された巨樹・樹林を保全	金沢市保存樹、保存樹林、景観樹等の指定により寺社や民有地に残された巨樹・樹林を保全	保存樹指定本数：129本 保存樹林指定箇所数：53箇所
6	中心市街地における屋上、壁面等緑化に対し助成を実施	中心市街地の屋上、壁面等緑化へ助成	緑化補助件数：1件
7	「まちなか住宅建築奨励金」などの交付条件に緑被率を設定し、住宅地の緑化を推進	まちなか住宅建築奨励金・いい街金沢住まいづくり奨励金交付の認定条件に緑被率を設定し、住宅地の緑化、景観向上を推進	認定戸数 まちなか住宅：67戸 いい街金沢：143戸
8	公共施設における緑化を推進	野田山墓地松林等を保護するため、伐倒駆除、樹幹注入などの松食い虫防除を実施	伐倒駆除：1回(13本) 樹幹注入：1回(352本)
		市役所前広場など市施設においてグリーンカーテンを設置	
		東部クリーンセンターにおいて屋上緑化を試験的に実施し、省エネ効果を検証するため室内温度調査等を実施	
9	広域的な水と緑のネットワークの形成	西部緑道の整備を実施	
10	種子等の配布などにより緑のカーテンを普及	「金沢エコネット」への委託により、あさがおカーテン講座を開催し普及啓発	
11	架橋の規制などにより用水の開きょ化を推進	法定外公共物管理条例により水路の架橋を規制し、指導を実施	周知チラシの配布：約2,000件
12	各種団体や地域コミュニティと連携した打ち水の実施	実績なし	

グリーンカーテン

金沢市では、学校施設をはじめ、多くの市有施設でグリーンカーテンを実施しました。（写真：市立玉川図書館）

夏の強い日差しを和らげ、葉の蒸散作用で周辺の温度を下げ、室温の上昇を抑えます。

基本方針５　廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します

施策NO	「低炭素都市づくり行動計画」に掲げた市の施策	H23年度　実施の施策・取り組み	実績
5-1	3R推進のための普及啓発と情報の提供を行います		
1	市民・事業者との協働による環境教育や普及啓発活動の実施	金沢53ダイエットに委託し、家庭系・事業系の廃棄物の減量化を推進	
2	環境イベントや出前講座による普及啓発活動の実施	小学校や町会を中心にごみ出しマナーなどの出前講座を実施	出前講座実施回数：13回 受講者数：700人
3	町会、大学などを対象とした分別収集説明会の開催	大学・短大・専門学校でごみ出しマナーの指導説明会を開催	開催回数：30回 参加人数：4000人
		財団主催の日本語教室において、金沢エコネットから講師を迎え、ごみ分別をテーマとした授業を開催	開催回数：1回 受講者数：8人
		新規外国人留学生を対象にしたガイダンスにおいて、ごみの捨て方や分別方法を説明	開催回数：4回
4	リサイクルプラザやクリーンセンターを拠点とした環境教育の推進	3R（Reduce、Reuse、Recycle）の中でも特にReuseに注視し、環境に配慮した生活の楽しみ方につながる3Rカルチャー教室を開催	開催回数：15回
		遊びや工作を通じて3Rを意識してもらう、ファミリー向けテーマイベント「とむろひろば」を開催	開催回数：5回
5	携帯電話やパソコンのメールでごみの収集日を通知する金沢「ごみゼロ」ドットコムの活用	金沢「ごみゼロ」ドットコムにより、ごみ出し日や出し方などをメール配信	登録人数：18,483人
6	事業系ごみの減量化に関する研修会や講習会の開催、参加	「廃棄物減量化計画書」の提出義務のある事業所等を対象に「事業系ごみ減量化に関する研修会」を開催	開催回数：1回 参加人数：50人
7	廃棄物の適正排出及び減量化・資源化に優れた取り組みをした事業所を表彰	廃棄物の適正排出及び減量化・資源化に優れた取り組みをした事業所をいいね金沢環境活動賞で表彰	

とむろひろば

戸室リサイクルプラザにおいて、かえっこバザールやエコ工作など、3R について楽しく学べるイベントが盛りだくさんの「とむろひろば」を開催しています。

かなざわエコキャラクター

アールちゃん

5-2	ごみの減量化と資源化を進めます		
1	ダンボールコンポストを利用した生ごみの堆肥化を推進	金沢53ダイエットとともに、燃やすごみに含まれる厨芥類の減量化を推進	
		NPO法人、市民団体、大学などと協働して、金沢産農林廃材を活用した地産地消型ダンボールコンポストを開発	
		町会、各種団体で、ダンボールコンポストを使った実践的な出前講座や3R推進についての説明会を開催	説明会開催回数：20回 参加人数：600人
2	食品廃棄物排出事業者に対する排出抑制指導を実施	「食品衛生責任者講習会」等で、食品リサイクルの重要性を周知	講習会開催回数：3回 受講者数：750人
3	内容物調査の実施と分別指導の徹底	東西クリーンセンターにおける内容物調査の実施及び紙ごみの多量排出者に対してリサイクルを要請	
		搬入許可業者に対して、搬入に係る説明会を実施	搬入許可業者：21事業者
4	マイバッグ持参による買い物、環境負荷の少ない商品の購入など、「環境にやさしい買い物」を推進（再掲2-1-5）		
5	環境負荷の少ない商品やサービスの提供などを行う「環境にやさしい買い物」取組店舗の拡大（「環境にやさしい買い物推進店」の登録店舗の拡大）（再掲2-2-5）		
6	資源化物の自己搬入コーナーの運用拡充と地域回収地点の設置拡大	古紙および小型家電の回収強化のため設置場所・回収方法を検討	
		東西管理センターにおいて10月より試験的に小型家電の自己搬入コーナーを設置	
7	集団回収登録団体の拡大及び助成の継続	集団回収団体に対して助成を実施	登録団体数：121団体
8	「学生リユース市」や「かえっこバザール」の開催など市民・事業者によるリユース活動の支援、実施	とむろひろば開催に合わせ、かえっこバザールを開催	開催回数：5回
		学生リユース市を開催	開催回数：1回
9	下水処理で発生する汚泥をアスファルト舗装材料の一部として有効利用	下水処理で発生する汚泥をアスファルト舗装材料の一部として有効利用するため、一般道で舗装を実施	有効利用率：27%
10	共同調理場で排出される野菜くずの堆肥化を実施	共同調理場5施設から排出される野菜くずを再生利用事業者へ収集運搬し、堆肥化して再生利用	運搬処理量：71.1t
11	浄水処理過程で発生する汚泥脱水ケーキを全量園芸土に再利用	浄水汚泥脱水ケーキを園芸土として再利用	再利用量：464t
12	焼却施設から排出される焼却残渣を有効に利用	焼却残渣のセメント化等有効利用の課題について検討を実施	
5-3	ごみ処理施設等における発電と余熱利用を行います		
1	市の焼却施設での廃棄物発電の実施（周辺施設への電力供給）	東西クリーンセンターにおいて、廃棄物発電を実施	年間発電量：30,846MWh
2	市の焼却施設による余熱を周辺施設で利用（焼却余熱を温水プール等に利用）	東西クリーンセンターにおいて、焼却余熱を温水プール等に活用	年間利用蒸気量：9,147t
3	下水汚泥焼却炉の廃熱を下水消化タンクの加温に利用	汚泥焼却炉の廃熱による温水を消化タンクの加温に利用	廃熱利用温水量：107千㎥